

研究課題：小児心臓外科における開心術後の縦隔炎のリスク因子に関する後方視的検討

1. 研究の目的

小児心臓外科手術は救命的治療として不可避である一方、術後縦隔炎は重篤な合併症で死亡率が高だけでなく、再手術の必要性や長期の抗菌薬投与、それに伴う有害事象や入院期間の延長と関連します。小児特有の危険因子や予後因子に関する検討は限定的であり、エビデンスが十分と言えない現状です。非常に多様な因子から構成されている術後管理の要素のうち、小児心臓外科術後縦隔炎のリスク因子を解明することで、重症小児心疾患患者の生命予後改善に直結する臨床的意義があると考えています。

2. 研究の方法

2017 年 1 月から 2025 年 3 月に当院心臓外科で行われた開心術を受けた患者様のうち、術後に縦隔炎を発症した症例について、電子診療録から年齢、性別、基礎疾患、手術データ、検査データなどを抽出し、統計学的に解析します。

3. 研究期間

2026 年 1 月 倫理委員会で承認を得られた日から 2028 年 3 月まで

4. 研究に用いる資料・情報の種類

電子診療録から抽出した、患者情報（年齢、性別、基礎疾患、既往歴など）、検査データ（細菌検査、血液検査、画像検査など）、手術情報、治療内容（使用した薬剤など）を用います。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

研究で得られたデータは学会発表や医学雑誌などで公表されることはありますが、個人が特定できないように配慮します。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：集中治療科 医員 星加 史郎

研究分担者：集中治療科 医長 五十嵐 成

集中治療科 医長 谷 昌憲

集中治療科 科長兼副部長 新津 健裕

救急診療科 科長兼部長 植田 育也

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2026 年 12 月 31 日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）